

埼玉県型可変側溝

(GT側溝)

(GT側溝^{ワイド}W)

埼玉県建設資材



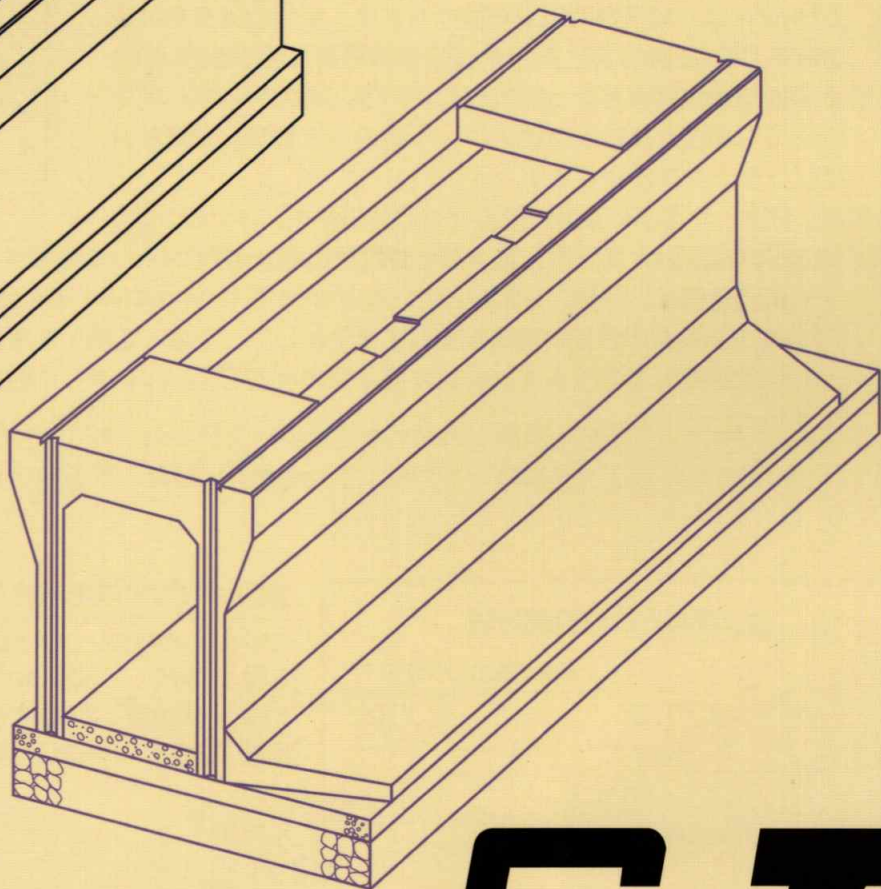
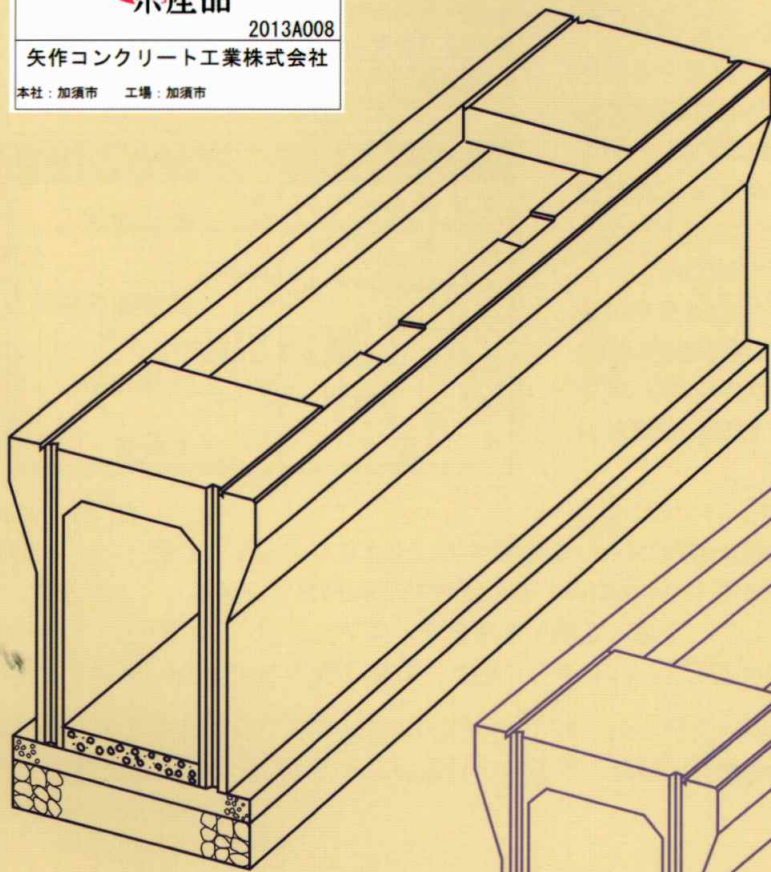
2013A008

矢作コンクリート工業株式会社

本社：加須市 工場：加須市



埼玉県マスコット
「コバトン」



GT[®]



矢作コンクリート工業株式会社

埼玉県型可変側溝 (GT側溝)

GT側溝とは道路用排水側溝として、GT単独施工はもとより、施工性が良好で埼玉県内に高い実績を有するロングUと、合理的な構造と排水勾配設定の容易な全国的に実績のある自由勾配側溝との併用施工を違和感なく達成し、道路延長外観の整合性を保ちながら、構造上、深物になればなるほど経済性の高まる門型ラーメン側溝の特徴を生かし、全体として安価に側溝工事ができることを目指し開発された埼玉県産の画期的な側溝です。

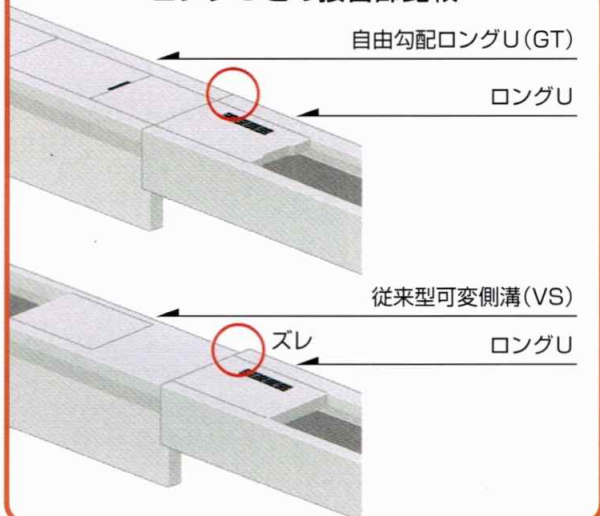
GT側溝の特長

- GT側溝は、I種一歩道用、II種一歩車道兼用、III種一車道用とロングUの用途別構成と同じ用途別構成です。平面寸法もロングUと同一で、連続施工後の平面外観はロングUとの設置継ぎ目に寸法ズレによる違和感がなく、非常に滑らかな統一性のある仕上がり外観となります。
- GT側溝には、埼玉県型甲蓋が掛かります。網付型は言うに及ばず、GT-I種は何と埼玉県型歩道用甲蓋(390×50×600)が掛かる仕様構造となっておりますので、県内メーカー何処からでも簡便な供給が可能です。甲蓋の一元管理と破損部分のメンテナンスが容易です。
- GT側溝の溝幅は、埼玉県型ロングU併設対応限定の為300mmのみですが、深さにつきましては標準型・土留型ともに門型構造の特長性を生かして、300mmから100mm刻みで有効深さ1500mmまでご用意しております。GT側溝の深物対応性能の経済性有利さを生かして、I種・II種・III種全サイズで土留型(底版突出型)をH300~1500迄製造しております。非常に重く高価な底版突出ロングUに比べ、安価で堅牢な土留型GT側溝をご検討下さい。

ロングU：GT側溝 組合せ

ロングU	↔	GT側溝
薄壁歩道用(NF)	↔	I種歩道用
歩道用(F)	↔	
薄壁歩車道兼用(NH)	↔	II種歩車道兼用
歩車道兼用(H)	↔	
薄壁車道用(N)	↔	III種車道用
車道用	↔	
各土留型	↔	各土留型

ロングUとの接合部比較



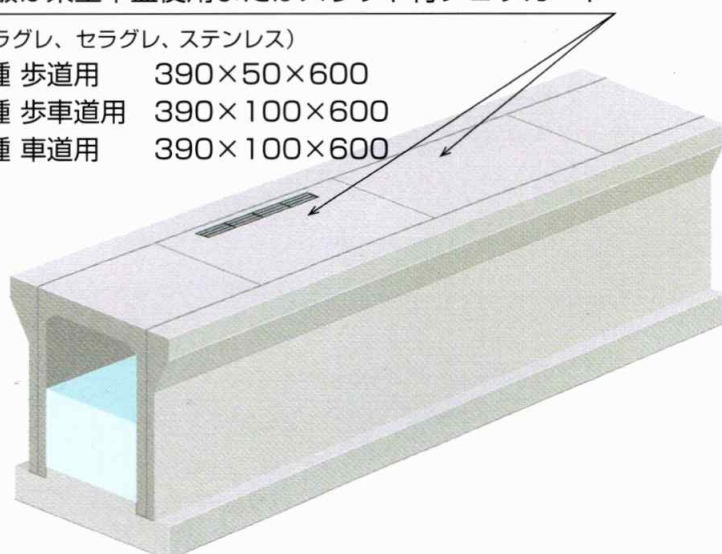
蓋版は県型甲蓋使用またはスリット付チェックード

(フラグレ、セラグレ、ステンレス)

I種歩道用 390×50×600

II種歩車道用 390×100×600

III種車道用 390×100×600



埼玉県型可変側溝 (GT側溝^{ワイド})

GT-W (ワイド)側溝の特長

ロングU：GT側溝 組合せ

GT-W側溝	↔	ロングU
Ⅱ種 歩車道兼用	↔	薄壁歩道用〈NF〉
	↔	歩道用〈F〉
	↔	薄壁歩車道兼用〈NH〉
	↔	歩車道兼用〈H〉
Ⅲ種 車道用	↔	薄壁車道用〈N〉
	↔	車道用
	↔	各土留型

蓋は県蓋
アミ・平・手付

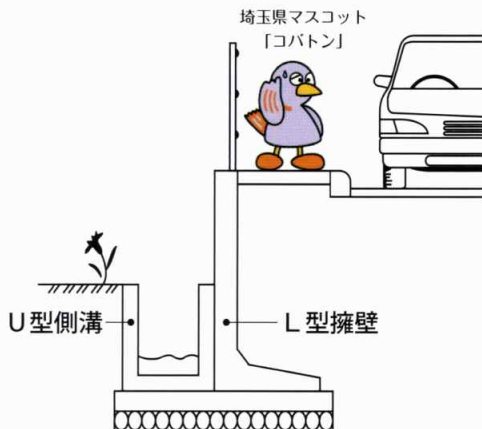


- 1 ロングU・GT側溝など同一の外形寸法の中で、溝巾を300mmから400mmに。100mmの拡幅を実現できる可変側溝です。
- 2 従来の長尺側溝と同じ幅で水路内巾400mmを実現、流速流量の大幅な増加が期待できます。
- 3 水路巾400mmなのに高価な特寸蓋を使用せず、埼玉県型寸法の蓋を利用するため工事費を縮減できます。
- 4 側溝巾が300mmと同一のため道路巾を有効利用できます。また新設道路では用地買収幅を少なくできます。
- 5 製品底部で「先打可変ベースプレート」を設置する事で、側壁下端の変位を防止すると共に、底板部の地盤支持力を増加できます。
- 6 全サイズ車道側並びに歩道側の側壁が鉛直で、埋戻し締固めが容易。従来の巾400mm側溝と比べて大幅な軽量化を実現しま

道路雨水排水におけるゲリラ豪雨などのレインホール対策に、そして逸水箇所、路線の部分メンテナンスなど、経済的な側溝拡幅リニューアル工事に従前からの道路の景観、外観を大きく変えずに側溝を仕上げる事を目的として開発した県内限定可変側溝です。

道路幅員の有効利用

● 従来工法



● 土留型自由勾配側溝工法

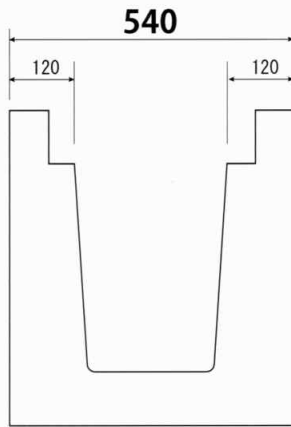


Contents

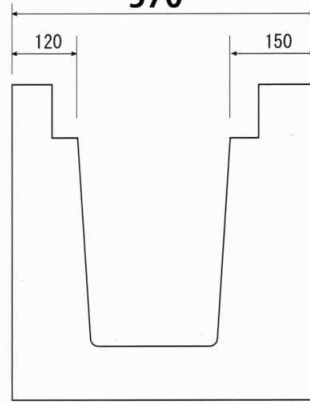
先打可変 ベースプレート	4
GTⅠ種(N)	5
GTⅠ種(D)	6
GTⅡ種(N)	7
GTⅡ種(D)	8
GTⅢ種(N)	9
GTⅢ種(D)	10
GT-WⅡ種(N)	11
GT-WⅢ種(N)	12

ロングU

薄壁歩道用〈NF〉
歩道用〈F〉
薄壁歩車道兼用〈NH〉
歩車道兼用〈H〉



570

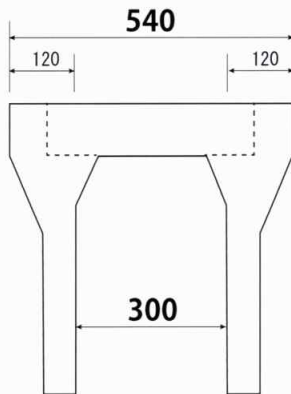


ロングU

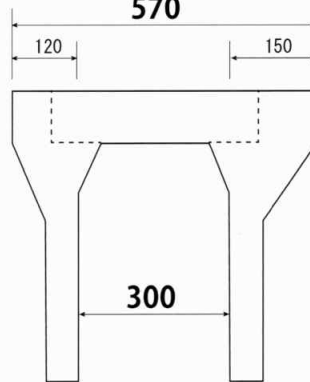
薄壁車道用〈N〉
車道用

GT側溝

I種歩道用
II種歩車道兼用



570

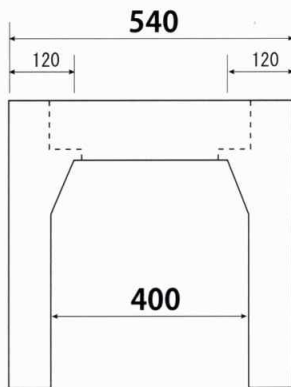


GT側溝

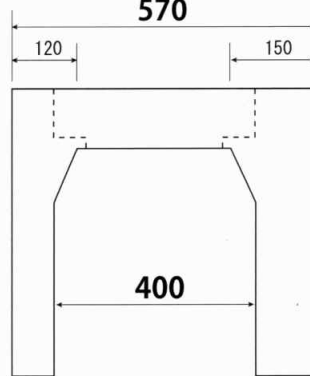
III種車道用

GT-W側溝

I種歩道用
II種歩車道兼用



570



GT-W側溝

III種車道用

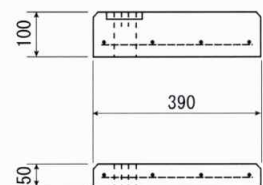
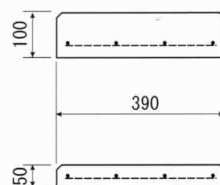
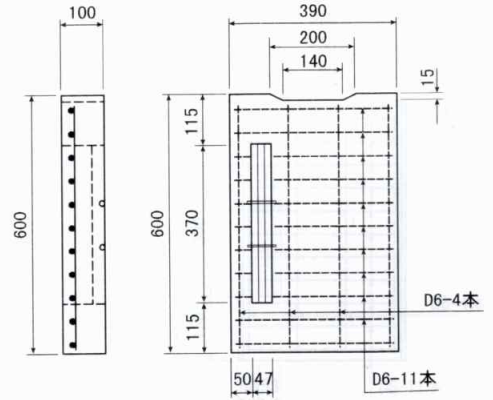
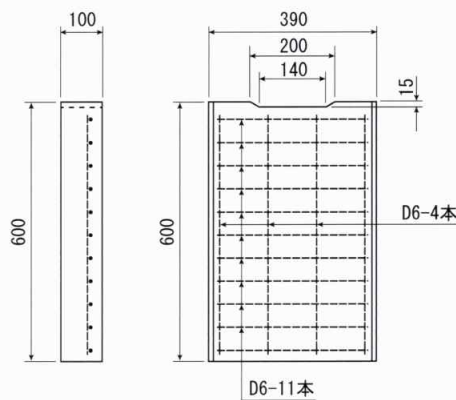
普通型 (片手)

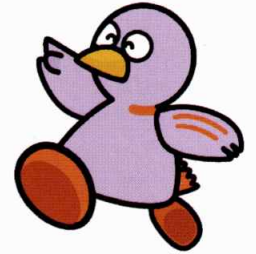
390 × 100 (50) × 600

SUS網付型 (片手)

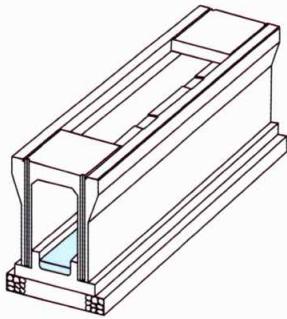
390 × 100 (50) × 600

GT蓋版





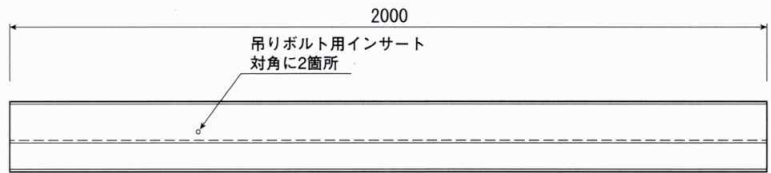
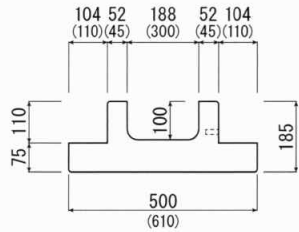
先打可変ベースプレート



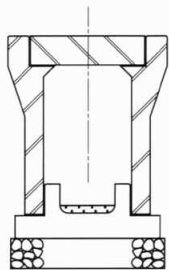
工期短縮
ベースコンクリート不要

精度向上
勾配コンクリート先打設

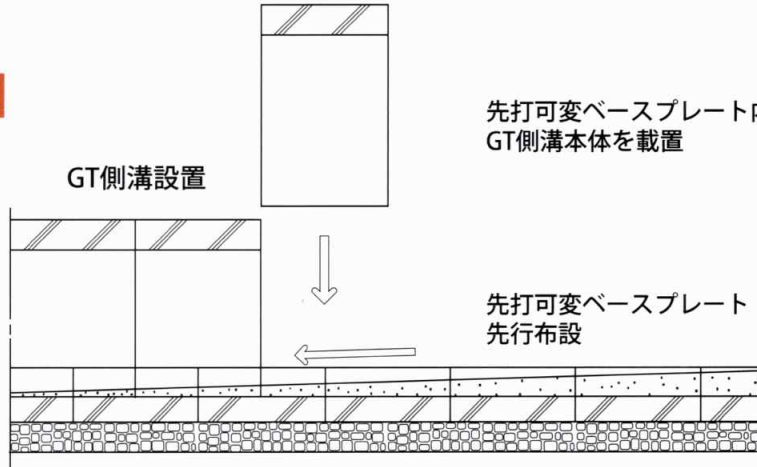
GT用
GT-W用 () 内



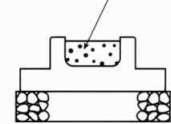
勾配調整 ・ 1サイズ



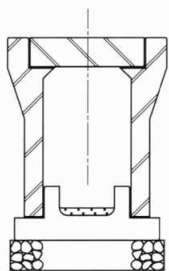
GT側溝設置



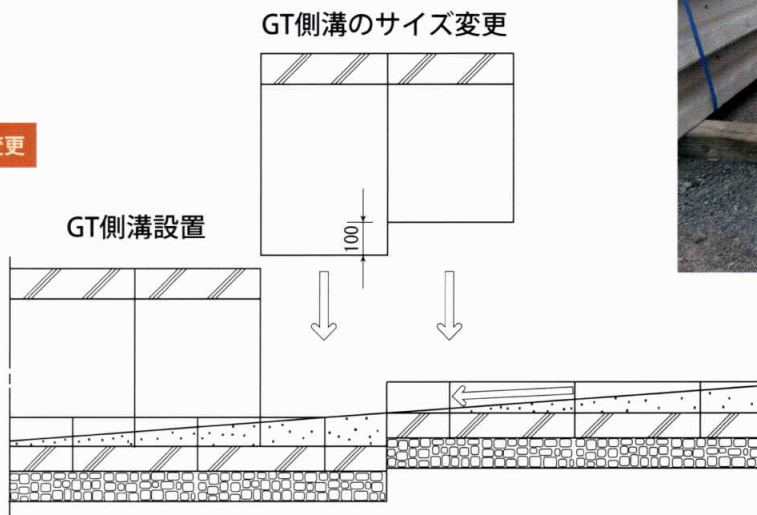
先打インバート
コンクリート



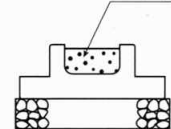
勾配調整 ・ サイズ変更



GT側溝設置

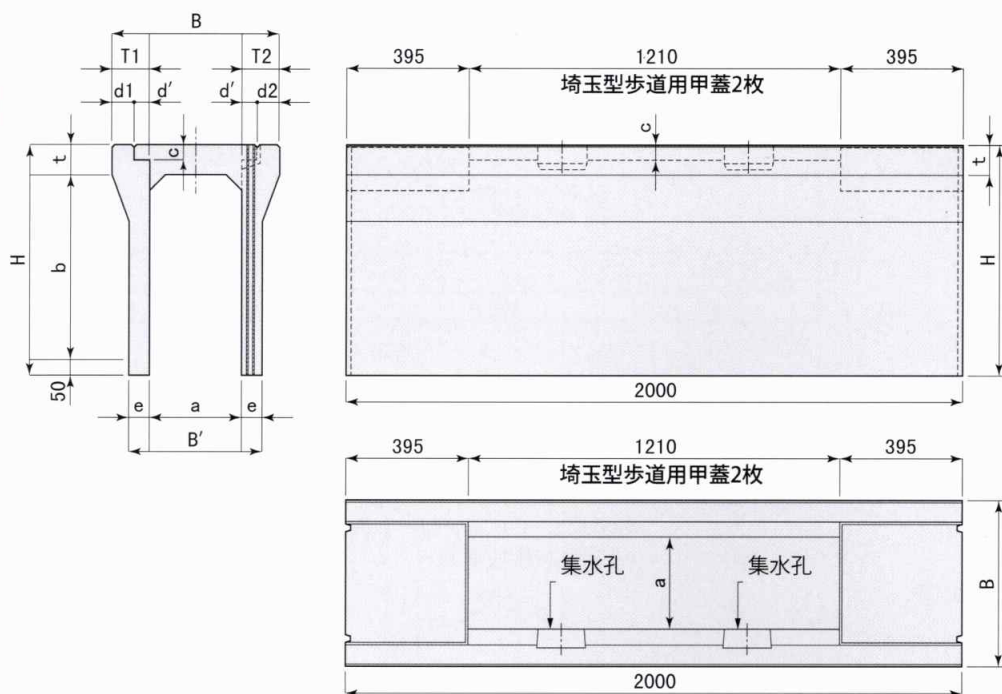


先打インバート
コンクリート



I 種 歩道用 (標準型)

詳しい内容はお問い合わせ下さい。



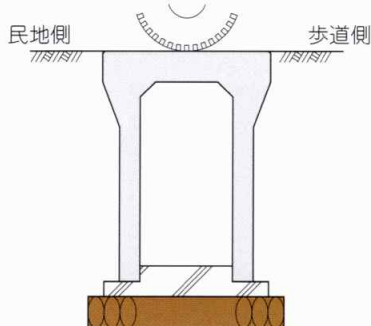
GT-N1: I 種 (標準型)

呼び名	形状寸法 (mm)													参考重量 (kg/本)
	a	b	c	d1	d2	d'	e	t	T1	T2	B	B'	H	
GT-N1- 300× 300	300	300	50	70	70	50	55	100	120	120	540	410	450	394
GT-N1- 300× 400	300	400	50	70	70	50	55	100	120	120	540	410	550	447
GT-N1- 300× 500	300	500	50	70	70	50	55	100	120	120	540	410	650	500
GT-N1- 300× 600	300	600	50	70	70	50	65	100	120	120	540	430	750	608
GT-N1- 300× 700	300	700	50	70	70	50	65	100	120	120	540	430	850	670
GT-N1- 300× 800	300	800	50	70	70	50	65	100	120	120	540	430	950	732
GT-N1- 300× 900	300	900	50	70	70	50	75	100	120	120	540	450	1050	879
GT-N1- 300×1000	300	1000	50	70	70	50	75	100	120	120	540	450	1150	951
GT-N1- 300×1100	300	1100	50	70	70	50	75	100	120	120	540	450	1250	1,023
GT-N1- 300×1200	300	1200	50	70	70	50	90	100	120	120	540	480	1350	1,264
GT-N1- 300×1300	300	1300	50	70	70	50	90	100	120	120	540	480	1450	1,350
GT-N1- 300×1400	300	1400	50	70	70	50	90	100	120	120	540	480	1550	1,437
GT-N1- 300×1500	300	1500	50	70	70	50	90	100	120	120	540	480	1650	1,523

● 設計条件

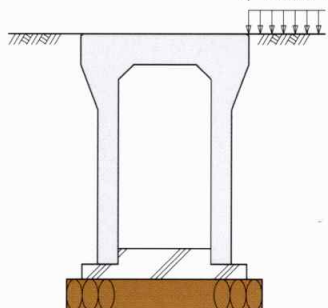
● 直載時 ●

T6横断
片側後輪荷重: Q=24kN/m²



● 地表面載荷時 ●

群集荷重
q=5kN/m²



※民地側自動車進入を考慮。

【土質】

土の単位体積重量: $\gamma_s=19\text{kN/m}^3$
土の内部摩擦角: $\phi=30^\circ$
主働土圧式: クローン式

【コンクリート】

設計基準強度: $\sigma_{ck}=27\text{N/mm}^2$
許容曲げ圧縮応力度: $\sigma_{ca}=9\text{N/mm}^2$
許容せん断応力度: $\tau_{ca}=0.42\text{N/mm}^2$

【鉄筋】

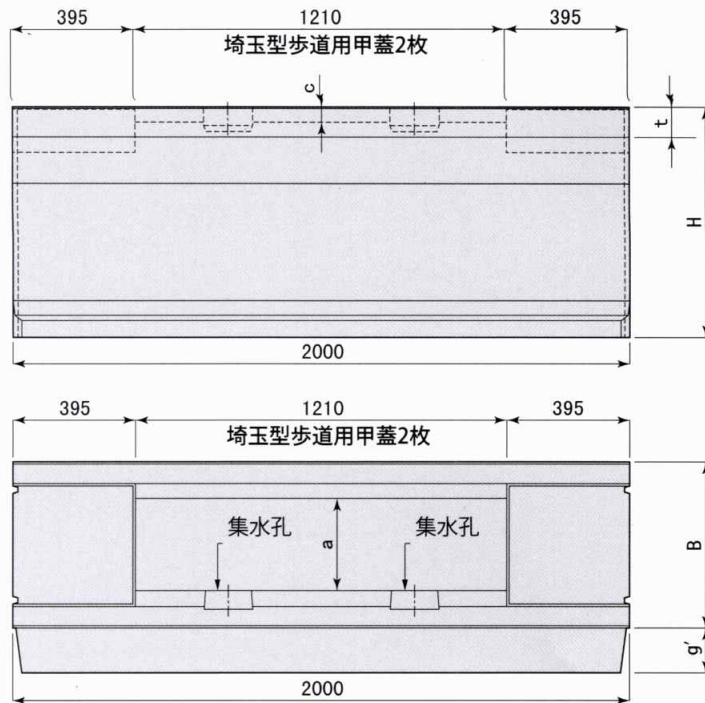
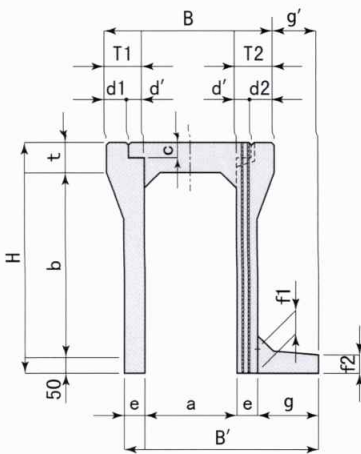
丸鋼の降伏強度: $\sigma_{sy}=235\text{N/mm}^2$
異径鉄筋の降伏強度(1): $\sigma_{sy}=295\text{N/mm}^2$
異径鉄筋の降伏強度(2): $\sigma_{sy}=345\text{N/mm}^2$
丸鋼の許容引張応力度: $\sigma_{sa}=140\text{N/mm}^2$
異径鉄筋の許容引張応力度: $\sigma_{sa}=180\text{N/mm}^2$

【準用図書】

コンクリート標準示方書
JIS-A5345
日本道路協会/道路示方書、カルバート工指針、
擁壁工指針、道路構造令の解説と運用

I種 歩道用(土留型)

詳しい内容はお問い合わせ下さい。

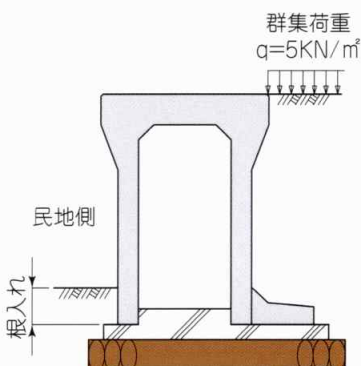


GT-D1: I種(土留型)

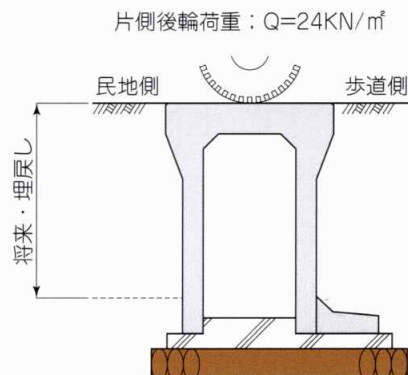
呼 び 名	形状寸法 (mm)																参考重量 (kg/本)
	a	b	c	d1/d2	d'	e	t	T1/T2	f1	f2	g	g'	B	B'	H		
GT-D1- 300× 300	300	300	50	70/70	50	55	100	120/120	65	50	150	85	540	560	450	441	
GT-D1- 300× 400	300	400	50	70/70	50	55	100	120/120	65	50	150	85	540	560	550	494	
GT-D1- 300× 500	300	500	50	70/70	50	55	100	120/120	65	50	150	85	540	560	650	546	
GT-D1- 300× 600	300	600	50	70/70	50	65	100	120/120	75	55	200	145	540	630	750	675	
GT-D1- 300× 700	300	700	50	70/70	50	65	100	120/120	75	55	200	145	540	630	850	737	
GT-D1- 300× 800	300	800	50	70/70	50	65	100	120/120	75	50	250	195	540	680	950	812	
GT-D1- 300× 900	300	900	50	70/70	50	75	100	120/120	90	60	300	255	540	750	1050	990	
GT-D1- 300× 1000	300	1000	50	70/70	50	75	100	120/120	90	55	350	295	540	800	1150	1,075	
GT-D1- 300× 1100	300	1100	50	70/70	50	75	100	120/120	90	50	400	335	540	850	1250	1,159	
GT-D1- 300× 1200	300	1200	50	70/70	50	90	100	120/120	120	80	400	370	540	880	1350	1,456	
GT-D1- 300× 1300	300	1300	50	70/70	50	90	100	120/120	120	75	450	420	540	930	1450	1,560	
GT-D1- 300× 1400	300	1400	50	70/70	50	90	100	120/120	120	70	500	470	540	980	1550	1,662	
GT-D1- 300× 1500	300	1500	50	70/70	50	90	100	120/120	120	65	550	520	540	1030	1650	1,763	

●設計条件

●片側地表面載荷時●



●側溝本体部●



※転倒判定方法: 合力作用位置がB'/6以内, 滑動判定方法: 安全率1.5以上。
 ※設計時の根入れは無考慮ですが、施工時には十分な根入れを確保して下さい。
 ※将来、民地側が埋戻しされた場合でも、側溝本体部は自動車進入を考慮しており、安全です。

【土質】

土の単位体積重量: $\gamma_s=19\text{kN/m}^3$
 土の内部摩擦角: $\phi=30^\circ$
 主働土圧式: クローン式

【コンクリート】

設計基準強度: $\sigma_{ck}=27\text{N/mm}^2$
 許容曲げ圧縮応力度: $\sigma_{ca}=9\text{N/mm}^2$
 許容せん断応力度: $\tau_{ca}=0.42\text{N/mm}^2$

【鉄筋】

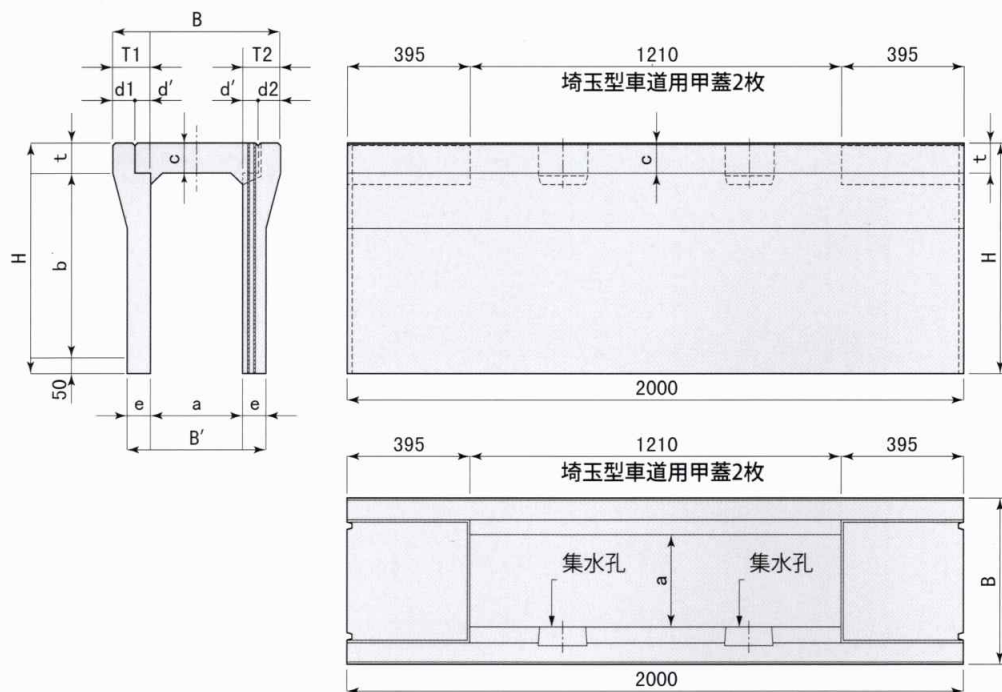
丸鋼の降伏強度: $\sigma_{sy}=235\text{N/mm}^2$
 異径鉄筋の降伏強度(1): $\sigma_{sy}=295\text{N/mm}^2$
 異径鉄筋の降伏強度(2): $\sigma_{sy}=345\text{N/mm}^2$
 丸鋼の許容引張応力度: $\sigma_{sa}=140\text{N/mm}^2$
 異径鉄筋の許容引張応力度: $\sigma_{sa}=180\text{N/mm}^2$

【準用図書】

コンクリート標準示方書
 JIS-A5345
 日本道路協会/道路示方書、カルバート工指針、
 擁壁工指針、道路構造令の解説と運用

II種 歩車道兼用 (標準型)

詳しい内容はお問い合わせ下さい。



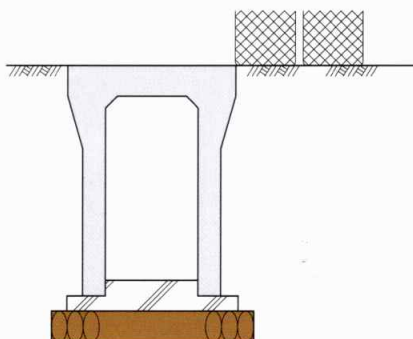
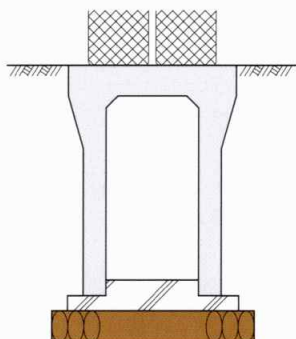
GT-N2 : II種 (標準型)

呼び名	形状寸法 (mm)													参考重量 (kg/本)
	a	b	c	d1	d2	d'	e	t	T1	T2	B	B'	H	
GT-N2- 300× 300	300	300	100	70	70	50	60	100	120	120	540	420	450	400
GT-N2- 300× 400	300	400	100	70	70	50	60	100	120	120	540	420	550	458
GT-N2- 300× 500	300	500	100	70	70	50	60	100	120	120	540	420	650	515
GT-N2- 300× 600	300	600	100	70	70	50	75	100	120	120	540	450	750	654
GT-N2- 300× 700	300	700	100	70	70	50	75	100	120	120	540	450	850	726
GT-N2- 300× 800	300	800	100	70	70	50	75	100	120	120	540	450	950	798
GT-N2- 300× 900	300	900	100	70	70	50	75	100	120	120	540	450	1050	870
GT-N2- 300×1000	300	1000	100	70	70	50	85	100	120	120	540	470	1150	1,034
GT-N2- 300×1100	300	1100	100	70	70	50	85	100	120	120	540	470	1250	1,115
GT-N2- 300×1200	300	1200	100	70	70	50	100	100	120	120	540	500	1350	1,364
GT-N2- 300×1300	300	1300	100	70	70	50	100	100	120	120	540	500	1450	1,460
GT-N2- 300×1400	300	1400	100	70	70	50	100	100	120	120	540	500	1550	1,556
GT-N2- 300×1500	300	1500	100	70	70	50	100	100	120	120	540	500	1650	1,652

● 設計条件

● 直載時 ●

● 接近時 ●



【土質】

土の単位体積重量: $\gamma_s = 19 \text{ kN/m}^3$
 土の内部摩擦角: $\phi = 30^\circ$
 主働土圧式: クロウン式

【コンクリート】

設計基準強度: $\sigma_{ck} = 27 \text{ N/mm}^2$
 許容曲げ圧縮応力度: $\sigma_{ca} = 9 \text{ N/mm}^2$
 許容せん断応力度: $\tau_{ca} = 0.42 \text{ N/mm}^2$

【鉄筋】

丸鋼の降伏強度: $\sigma_{sy} = 235 \text{ N/mm}^2$
 異径鉄筋の降伏強度(1): $\sigma_{sy} = 295 \text{ N/mm}^2$
 異径鉄筋の降伏強度(2): $\sigma_{sy} = 345 \text{ N/mm}^2$
 丸鋼の許容引張応力度: $\sigma_{sa} = 140 \text{ N/mm}^2$
 異径鉄筋の許容引張応力度: $\sigma_{sa} = 180 \text{ N/mm}^2$

【その他】

許容応力度の割増し係数: $\alpha = 1.50$

【準用図書】

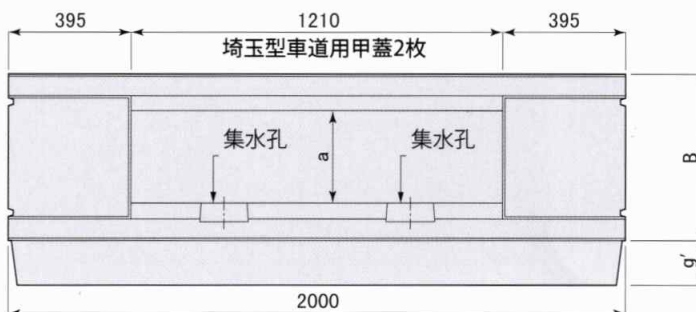
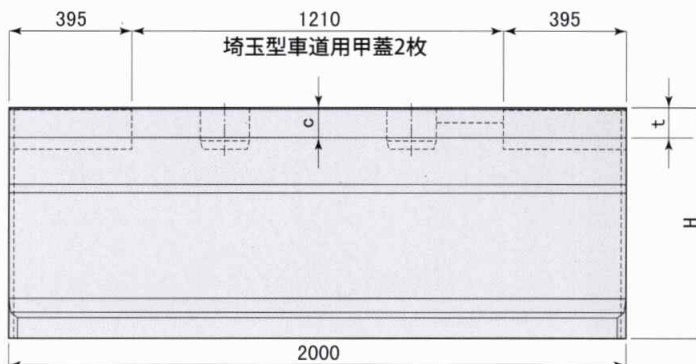
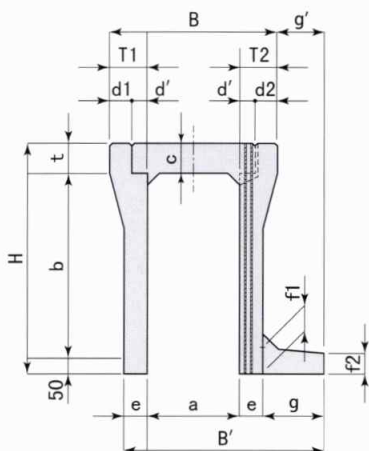
コンクリート標準示方書
 JIS-A5345
 日本道路協会/道路示方書、カルバート工指針、
 擁壁工指針、道路構造令の解説と運用

II種 歩車道兼用 (土留型)

詳しい内容はお問い合わせ下さい。

GT

GT-W



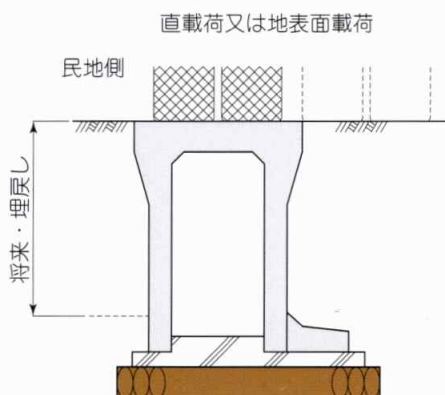
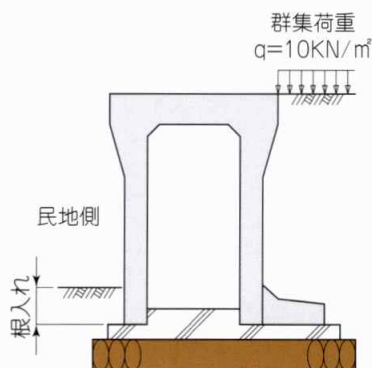
GT-D2 : II種 (土留型)

呼び名	形状寸法 (mm)															参考重量 (kg/本)
	a	b	c	d1/d2	d'	e	t	T1/T2	f1	f2	g	g'	B	B'	H	
GT-D2- 300× 300	300	300	100	70/70	50	60	100	120/120	70	55	150	90	540	570	450	450
GT-D2- 300× 400	300	400	100	70/70	50	60	100	120/120	70	50	200	140	540	620	550	520
GT-D2- 300× 500	300	500	100	70/70	50	60	100	120/120	70	45	250	190	540	670	650	588
GT-D2- 300× 600	300	600	100	70/70	50	75	100	120/120	85	60	250	205	540	700	750	744
GT-D2- 300× 700	300	700	100	70/70	50	75	100	120/120	85	55	300	255	540	750	850	829
GT-D2- 300× 800	300	800	100	70/70	50	75	100	120/120	85	55	300	255	540	750	950	901
GT-D2- 300× 900	300	900	100	70/70	50	75	100	120/120	85	50	350	305	540	800	1050	985
GT-D2- 300×1000	300	1000	100	70/70	50	85	100	120/120	100	65	350	315	540	820	1150	1,174
GT-D2- 300×1100	300	1100	100	70/70	50	85	100	120/120	100	60	400	365	540	870	1250	1,270
GT-D2- 300×1200	300	1200	100	70/70	50	100	100	120/120	125	80	450	430	540	950	1350	1,583
GT-D2- 300×1300	300	1300	100	70/70	50	100	100	120/120	125	75	500	480	540	1000	1450	1,696
GT-D2- 300×1400	300	1400	100	70/70	50	100	100	120/120	125	70	550	530	540	1050	1550	1,808
GT-D2- 300×1500	300	1500	100	70/70	50	100	100	120/120	125	65	600	580	540	1100	1650	1,919

● 設計条件

● 片側地表面載荷時 ●

● 側溝本体部 ●



【土質】

土の単位体積重量: $\gamma_s=19\text{kN/m}^3$
 土の内部摩擦角: $\phi=30^\circ$
 主働土圧式: クローン式

【コンクリート】

設計基準強度: $\sigma_{ck}=27\text{N/mm}^2$
 許容曲げ圧縮応力度: $\sigma_{ca}=9\text{N/mm}^2$
 許容せん断応力度: $\tau_{ca}=0.42\text{N/mm}^2$

【鉄筋】

丸鋼の降伏強度: $\sigma_{sy}=235\text{N/mm}^2$
 異径鉄筋の降伏強度(1): $\sigma_{sy}=295\text{N/mm}^2$
 異径鉄筋の降伏強度(2): $\sigma_{sy}=345\text{N/mm}^2$
 丸鋼の許容引張応力度: $\sigma_{sa}=140\text{N/mm}^2$
 異径鉄筋の許容引張応力度: $\sigma_{sa}=180\text{N/mm}^2$

【その他】

許容応力度の割増し係数: $\alpha=1.50$

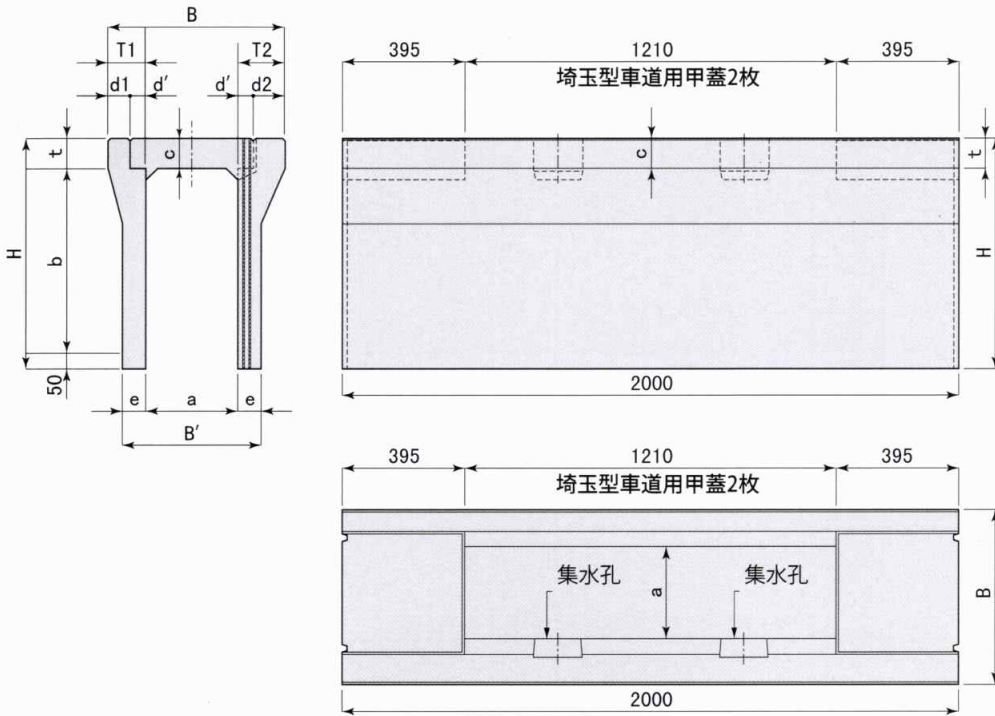
【準用図書】

コンクリート標準示方書
 JIS-A5345
 日本道路協会/道路示方書、カルバート工指針、
 擁壁工指針、道路構造令の解説と運用

※転倒判定方法: 合力作用位置がB'/6以内。滑動判定方法: 安全率1.5以上。
 ※設計時の根入れは無考慮ですが、施工時には十分な根入れを確保して下さい。
 ※将来、民地側が埋戻しされた場合でも、側溝本体部は自動車進入を考慮しており、安全です。

Ⅲ種 車道用 (標準型)

詳しい内容はお問い合わせ下さい。



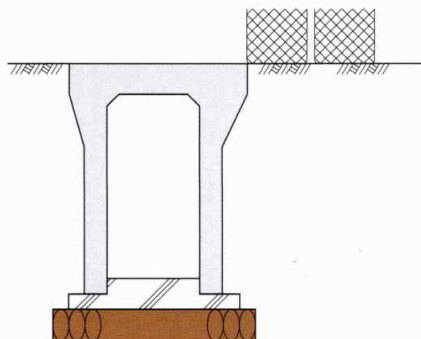
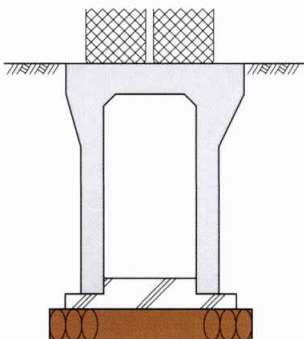
GT-N3 : Ⅲ種 (標準型)

呼び名	形状寸法 (mm)													参考重量 (kg/本)
	a	b	c	d1	d2	d'	e	t	T1	T2	B	B'	H	
GT-N3- 300× 300	300	300	100	70	100	50	60	100	120	150	570	420	450	428
GT-N3- 300× 400	300	400	100	70	100	50	60	100	120	150	570	420	550	486
GT-N3- 300× 500	300	500	100	70	100	50	60	100	120	150	570	420	650	544
GT-N3- 300× 600	300	600	100	70	100	50	75	100	120	150	570	450	750	681
GT-N3- 300× 700	300	700	100	70	100	50	75	100	120	150	570	450	850	753
GT-N3- 300× 800	300	800	100	70	100	50	75	100	120	150	570	450	950	825
GT-N3- 300× 900	300	900	100	70	100	50	75	100	120	150	570	450	1050	897
GT-N3- 300× 1000	300	1000	100	70	100	50	85	100	120	150	570	470	1150	1,061
GT-N3- 300× 1100	300	1100	100	70	100	50	85	100	120	150	570	470	1250	1,143
GT-N3- 300× 1200	300	1200	100	70	100	50	100	100	120	150	570	500	1350	1,391
GT-N3- 300× 1300	300	1300	100	70	100	50	100	100	120	150	570	500	1450	1,487
GT-N3- 300× 1400	300	1400	100	70	100	50	100	100	120	150	570	500	1550	1,583
GT-N3- 300× 1500	300	1500	100	70	100	50	100	100	120	150	570	500	1650	1,679

● 設計条件

● 直載時 ●

● 接近時 ●



【土質】

土の単位体積重量: $\gamma_s=19\text{kN/m}^3$
 土の内部摩擦角: $\phi=30^\circ$
 主働土圧式: クローン式

【コンクリート】

設計基準強度: $\sigma_{ck}=27\text{N/mm}^2$
 許容曲げ圧縮応力度: $\sigma_{ca}=9\text{N/mm}^2$
 許容せん断応力度: $\tau_{ca}=0.42\text{N/mm}^2$

【鉄筋】

丸鋼の降伏強度: $\sigma_{sy}=235\text{N/mm}^2$
 異径鉄筋の降伏強度(1): $\sigma_{sy}=295\text{N/mm}^2$
 異径鉄筋の降伏強度(2): $\sigma_{sy}=345\text{N/mm}^2$
 丸鋼の許容引張応力度: $\sigma_{sa}=140\text{N/mm}^2$
 異径鉄筋の許容引張応力度: $\sigma_{sa}=180\text{N/mm}^2$

【その他】

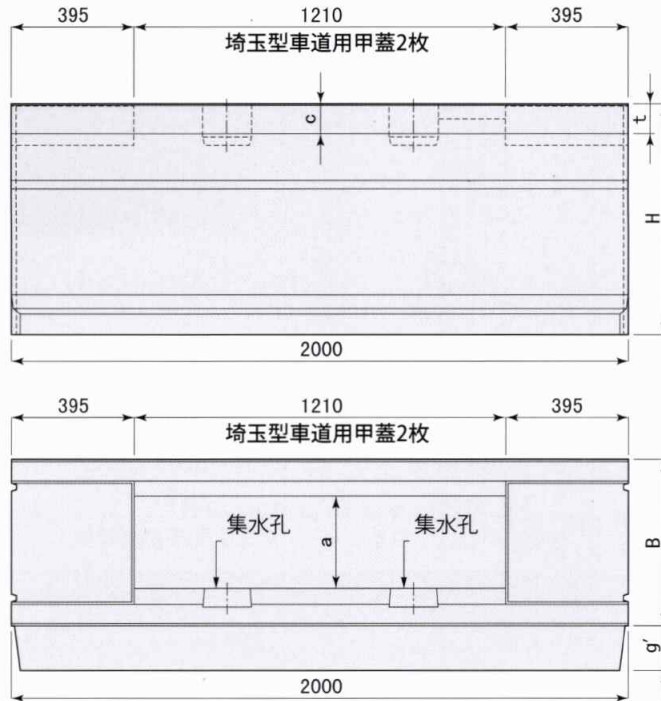
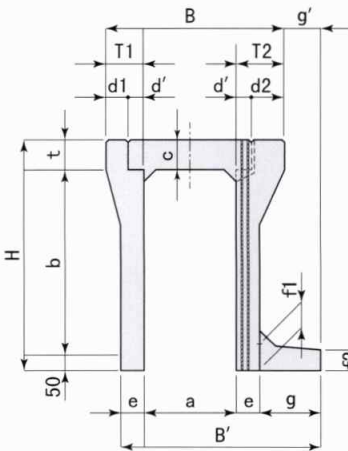
許容応力度の割増し係数: $\alpha=1.50$

【準用図書】

コンクリート標準示方書
 JIS-A5345
 日本道路協会/道路示方書、カルバート工指針、
 擁壁工指針、道路構造令の解説と運用

Ⅲ種 車道用(土留型)

詳しい内容はお問い合わせ下さい。



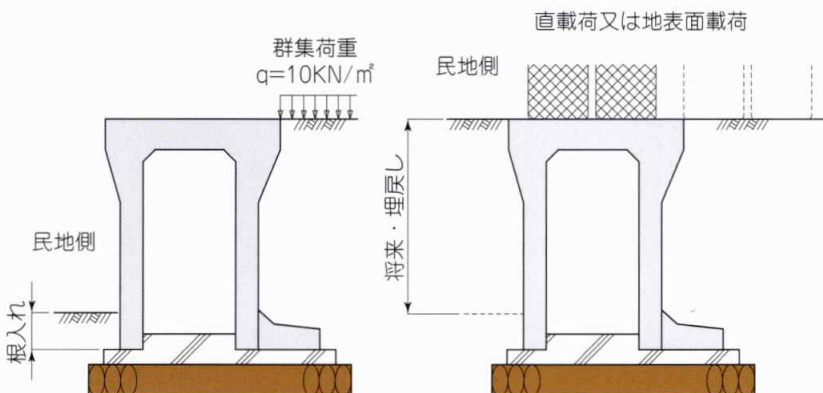
GT-D3：Ⅲ種(土留型)

呼び名	形状寸法 (mm)															参考重量 (kg/本)
	a	b	c	d1/d2	d'	e	t	T1/T2	f1	f2	g	g'	B	B'	H	
GT-D3- 300× 300	300	300	100	70/100	50	60	100	120/150	70	55	150	60	570	570	450	477
GT-D3- 300× 400	300	400	100	70/100	50	60	100	120/150	70	50	200	110	570	620	550	547
GT-D3- 300× 500	300	500	100	70/100	50	60	100	120/150	70	45	250	160	570	670	650	616
GT-D3- 300× 600	300	600	100	70/100	50	75	100	120/150	85	60	250	175	570	700	750	772
GT-D3- 300× 700	300	700	100	70/100	50	75	100	120/150	85	55	300	225	570	750	850	857
GT-D3- 300× 800	300	800	100	70/100	50	75	100	120/150	85	55	300	275	570	750	950	941
GT-D3- 300× 900	300	900	100	70/100	50	75	100	120/150	85	50	350	275	570	800	1050	1,013
GT-D3- 300× 1000	300	1000	100	70/100	50	85	100	120/150	100	65	350	335	570	820	1150	1,215
GT-D3- 300× 1100	300	1100	100	70/100	50	85	100	120/150	100	60	400	335	570	870	1250	1,297
GT-D3- 300× 1200	300	1200	100	70/100	50	100	100	120/150	125	80	450	400	570	950	1350	1,611
GT-D3- 300× 1300	300	1300	100	70/100	50	100	100	120/150	125	75	500	450	570	1000	1450	1,724
GT-D3- 300× 1400	300	1400	100	70/100	50	100	100	120/150	125	70	550	500	570	1050	1550	1,835
GT-D3- 300× 1500	300	1500	100	70/100	50	100	100	120/150	125	65	600	550	570	1100	1650	1,946

●設計条件

●片側地表面載荷時●

●側溝本体部●



※転倒判定方法：合力作用位置がB'/6以内、滑動判定方法：安全率1.5以上。
 ※設計時の根入れは無考慮ですが、施工時には十分な根入れを確保して下さい。
 ※将来、民地側が埋戻しされた場合でも、側溝本体部は自動車進入を考慮しており、安全です。

【土質】

土の単位体積重量： $\gamma_s=19kN/m^3$
 土の内部摩擦角： $\phi=30^\circ$
 主働土圧式：クローン式

【コンクリート】

設計基準強度： $\sigma_{ck}=27N/mm^2$
 許容曲げ圧縮応力度： $\sigma_{ca}=9N/mm^2$
 許容せん断応力度： $\tau_{ca}=0.42N/mm^2$

【鉄筋】

丸鋼の降伏強度： $\sigma_{sy}=235N/mm^2$
 異径鉄筋の降伏強度(1)： $\sigma_{sy}=295N/mm^2$
 異径鉄筋の降伏強度(2)： $\sigma_{sy}=345N/mm^2$
 丸鋼の許容引張応力度： $\sigma_{sa}=140N/mm^2$
 異径鉄筋の許容引張応力度： $\sigma_{sa}=180N/mm^2$

【その他】

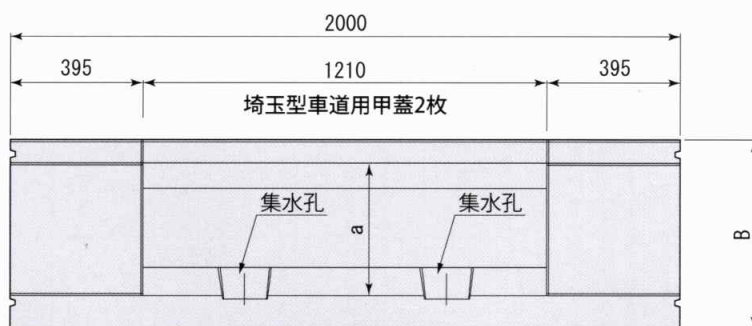
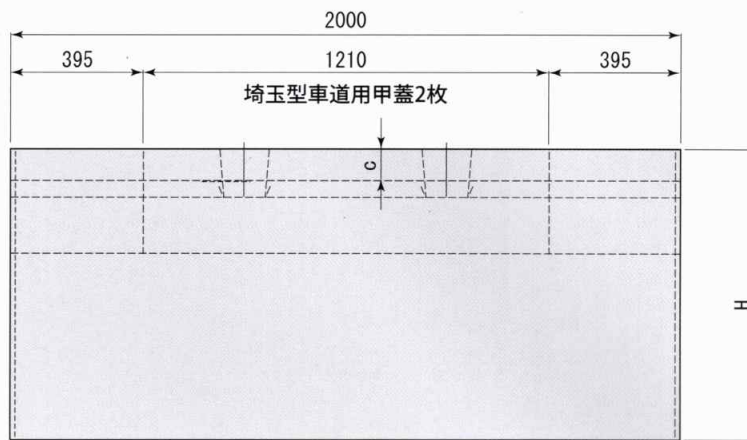
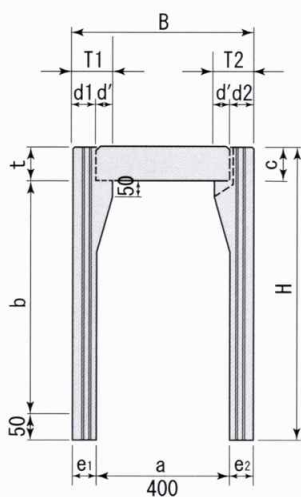
許容応力度の割増し係数： $\alpha=1.50$

【準用図書】

コンクリート標準示方書
 JIS-A5345
 日本道路協会／道路示方書、カルバート工指針、
 擁壁工指針、道路構造令の解説と運用

GT-W II種 (標準型)

詳しい内容はお問い合わせ下さい。



GT-W : II種 (標準型)

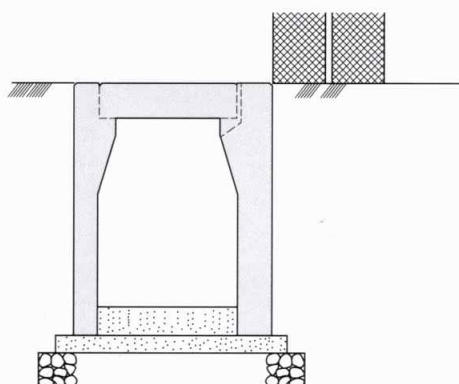
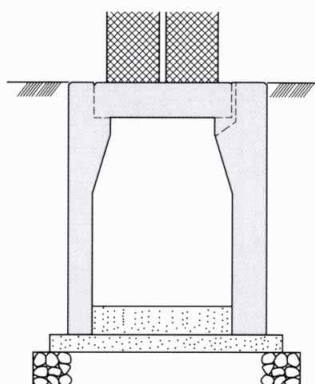
呼び名	形状寸法 (mm)													参考重量 (kg/本)
	a	b	c	d ₁	d ₂	d'	e ₁	e ₂	t	T1	T2	B	H	
GT-W N2 400× 400	400	400	100	67	67	83	70	70	120	150	150	540	550	535
GT-W N2 400× 500	400	500	100	67	67	83	70	70	120	150	150	540	650	602
GT-W N2 400× 600	400	600	100	67	67	83	70	70	120	150	150	540	750	670
GT-W N2 400× 700	400	700	100	67	67	83	70	70	120	150	150	540	850	737
GT-W N2 400× 800	400	800	100	67	67	83	70	70	120	150	150	540	950	804
GT-W N2 400× 900	400	900	100	67	67	83	70	70	120	150	150	540	1050	871

※土留型はお問い合わせ下さい。
 ※カタログにない深型 GT-W はお問い合わせ下さい。

●設計条件

●直載時●

●接近時●



【土質】

土の単位体積重量: $\gamma_s = 19 \text{ kN/m}^3$
 土の内部摩擦角: $\phi = 30^\circ$
 主働土圧式: クローン式

【コンクリート】

設計基準強度: $\sigma_{ck} = 27 \text{ N/mm}^2$
 許容曲げ圧縮応力度: $\sigma_{ca} = 9 \text{ N/mm}^2$
 許容せん断応力度: $\tau_{ca} = 0.42 \text{ N/mm}^2$

【鉄筋】

丸鋼の降伏強度: $\sigma_{sy} = 235 \text{ N/mm}^2$
 異径鉄筋の降伏強度(1): $\sigma_{sy} = 295 \text{ N/mm}^2$
 異径鉄筋の降伏強度(2): $\sigma_{sy} = 345 \text{ N/mm}^2$
 丸鋼の許容引張応力度: $\sigma_{sa} = 140 \text{ N/mm}^2$
 異径鉄筋の許容引張応力度: $\sigma_{sa} = 180 \text{ N/mm}^2$

【その他】

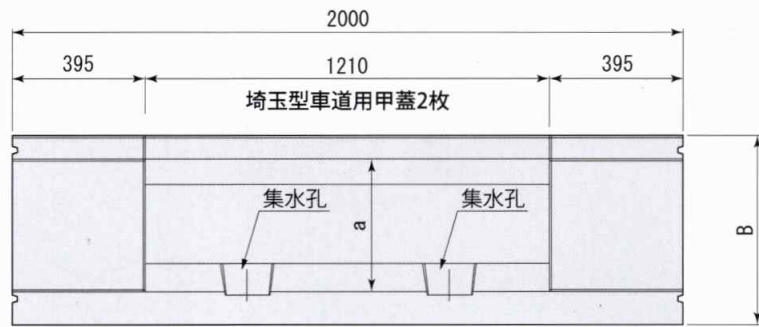
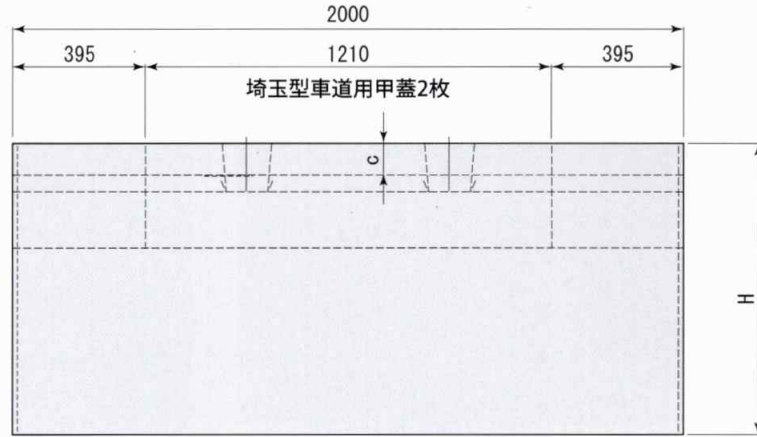
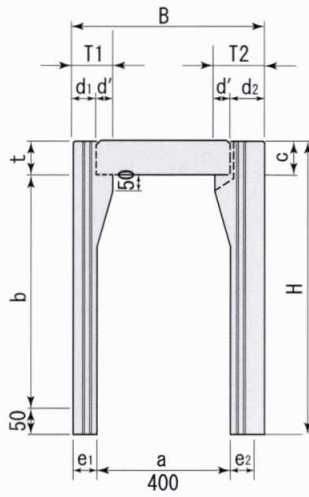
許容応力度の割増し係数: $\alpha = 1.50$

【準用図書】

コンクリート標準示方書
 JIS-A5345
 日本道路協会/道路示方書、カルバート工指針、擁壁工指針、道路構造令の解説と運用

GT-W Ⅲ種 (標準型)

詳しい内容はお問い合わせ下さい。



GT-W : Ⅲ種 (標準型)

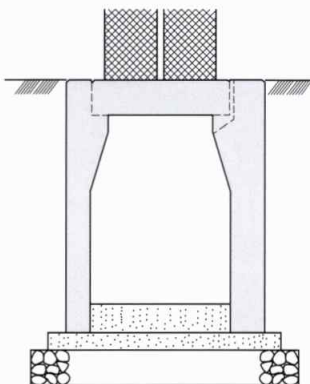
呼び名	形状寸法 (mm)													参考重量 (kg/本)
	a	b	c	d ₁	d ₂	d'	e ₁	e ₂	t	T1	T2	B	H	
GT-W N3 400×400	400	400	100	67	97	83	70	100	120	150	180	570	550	607
GT-W N3 400×500	400	500	100	67	97	83	70	100	120	150	180	570	650	696
GT-W N3 400×600	400	600	100	67	97	83	70	100	120	150	180	570	750	778
GT-W N3 400×700	400	700	100	67	97	83	70	100	120	150	180	570	850	859
GT-W N3 400×800	400	800	100	67	97	83	70	100	120	150	180	570	950	941
GT-W N3 400×900	400	900	100	67	97	83	70	100	120	150	180	570	1050	1,010

※土留型はお問い合わせ下さい。

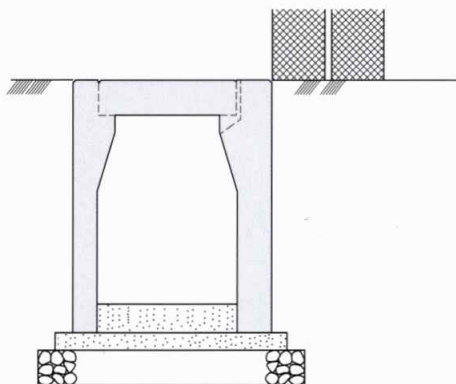
※カタログにない深型 GT-W はお問い合わせ下さい。

●設計条件

●直載時●



●接近時●



【土質】

土の単位体積重量: $\gamma_s = 19 \text{ kN/m}^3$

土の内部摩擦角: $\phi = 30^\circ$

主働土圧式: クローン式

【コンクリート】

設計基準強度: $\sigma_{ck} = 27 \text{ N/mm}^2$

許容曲げ圧縮応力度: $\sigma_{ca} = 9 \text{ N/mm}^2$

許容せん断応力度: $\tau_{ca} = 0.42 \text{ N/mm}^2$

【鉄筋】

丸鋼の降伏強度: $\sigma_{sy} = 235 \text{ N/mm}^2$

異径鉄筋の降伏強度(1): $\sigma_{sy} = 295 \text{ N/mm}^2$

異径鉄筋の降伏強度(2): $\sigma_{sy} = 345 \text{ N/mm}^2$

丸鋼の許容引張応力度: $\sigma_{sa} = 140 \text{ N/mm}^2$

異径鉄筋の許容引張応力度: $\sigma_{sa} = 180 \text{ N/mm}^2$

【その他】

許容応力度の割増し係数: $\alpha = 1.50$

【準用図書】

コンクリート標準示方書

JIS-A5345

日本道路協会/道路示方書、カルバート工指針、擁壁工指針、道路構造令の解説と運用

施行写真





I種 歩道用(標準型) : 国道122号



I種 歩道用(土留型)



II種 歩車道用(標準型)

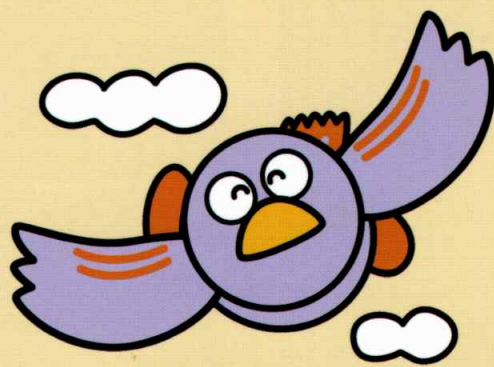


III種 車道用(土留型)




I種 歩道用(土留型) : 転落防止フェンス付





埼玉県マスコット
「コバトン」



 **矢作コンクリート工業株式会社**

- 本社／工場：〒347-0108 埼玉県加須市戸崎148-1
TEL.0480-73-1041(代) FAX.0480-73-4772
- 川口営業所：〒332-0032 埼玉県川口中青木1-9-27
／開発部 TEL.048-255-3180 FAX.048-452-8778